



エルサルバドル サン・ラモン農園

火山性の豊かな土壌と丘陵地の地形に恵まれたアタコ・イラマテペク地域。「フィンカ・サン・ラモン農園」は、美しいコンファス湖やアパネカ山の頂に抱かれるように広がり、毎年2月に収穫の最盛期を迎えます。この農園は1920年代からマガーニャ家によって受け継がれ、現在は5代目グスタボ氏と6代目エンリケ氏が中心となり、伝統を守りながら丹念にコーヒーを育てています。サン・ラモン農園のこだわりは、単なる品質の追求にとどまりません。働く人々とその家族が安心して暮らせるよう、無料の医療ケアや清潔な水の供給、町への送迎といった生活基盤を支える取り組みも大切にしています。大地の恵みと人への思いやりが一杯に込められた、サン・ラモン農園のコーヒー。ぜひそのやわらかな甘みと、火山性土壌ならではの豊かな風味をお楽しみください。



生産地域について	
地域	アフアチャパン県、アタコ町、イラマテペク地域
農園	サン・ラモン
標高	1,350m
土壌	火山性土壌
収穫期	2月
コーヒーについて	
規格	SHG
精製	水洗
品種	ブルボン、アナカフェ、パカス
カップ	酸味

